

活動報告

団体名	一般社団法人災害救援協会
活動名	北九州の豪雨災害現場で先遣並びにできることのサポート
活動期間	2019/08/31～2019/09/01
活動の成果	<p>これまでの各地被災地支援活動の積み重ねにより、災害が起きたとき信頼のける防災関係者、信頼できる情報発信元などの支援活動に直結することができる人的・情報ネットワークが全国各地にできております。今回はそれを有効に活かしながら現地への先遣活動ができるよう工夫し、現地に最大限効率的に行くことができるよう活動いたしました。また、わたくしどもは発災後の「初動」を大切にしております。たくさんの情報が発信される中「現地に実際に行って分かること、それらを後からの部隊・人員に伝えること」がとても大切であると考えているからです。我々は、発災後すぐに動ける体制づくりを日頃から協会活動費より捻出する形で整える取組も行っています。手づくりですが倉庫を保有し、そこに様々な資機材、防災に必要な備品、道具、ベスト、備蓄品等最低限のものを備えています。また災害に合わせて、例えば車両を提供してくれる支援者、チェーンソーを提供してくれる支援者、無線機を提供してくれる支援者等々協力者のネットワークも日々構築しています。それらを今後さらに強化しながら、災害時に柔軟に、そしてすぐに動ける団体体制づくり、ならびに、ネットワーク構築や、支援活動に直結する演習活動を継続して参ります。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>災害が多発し、ボランティアも疲れた顔を見せることもございます。我々の団体は、日ごろから災害に備えた演習会も計画的に実施し、備えながら、災害時にはもっともよい形で支援活動ができますことに取り組んでおります。ご寄付いただきました資金は、被災者支援のために使わせていただくとともに、我々団体としては、より多くの被災者を救う、支える力のある団体の支援にも、あわせて使わせていただくことで、総合的に良き形で支援が被災者へときちんと届くようにしています。ありがとうございます。</p>

(活動のようす)

